

学習目標		
(1)きまりを守り、自分の役割に責任をもって行動する子どもを育てる。		
(2)自他の良さを認め合い、進んで人の役に立つことをする子どもを育てる。		
(3)生活を振り返り、目標を立て、あきらめず最後までやり遂げようとする子どもを育てる。		
月	単元・題材名	学習内容
4	がっこう だいすき あいさつ	学校での一日の生活や、一年間の生活の様子を知ることから、毎日楽しく過ごすことの大切さについて考える。 一日の生活の様々な場面でのあいさつの様子を表した絵を見て、気持ちの良いあいさつ、言葉遣い、動作などに心がけて、皆に明るく接することの大切さを考える。
5	みなちゃんの ふでばこ 「ありがとう」をみつつけよう ぼく こくばんだよ	みなちゃんとふでばこの関わりを通して、物や金銭を大切に身回りを整えることの意義を理解し、自分の生活においても実践していこうとするものの大切さを考える。 学校や町の中での生活の様子を表した絵を見て、自分の生活が、多くの人たちの善意によって守られていることに気づき、感謝することの大切さについて考える。 黒板係にやりがいを感じるたけしの気持ちに共感することで、みんなのために自分の仕事をきちんとやりとげようとするものの大切さについて考える。
6	あなたなら、どうする？ きんぎょがきえた むしばのこどもの たんじょ 二わの ことり	転んだきつねくんに対して、パンダくんが怒ってしまう場合と、慰める場合について考え、よいと思ったことは進んで行うことの大切さについて考える。 自分の宝物を絵に表わすことを通して、自分も周りの友達も、大切なものに囲まれて生活していることに気づくとともに、原子爆弾によって、それらの大切なものが一瞬にして消えてしまったことを理解し、生命や平和の大切さについて考える。 歯磨きをせず虫歯を作ってしまった「ぼく」が、反省して歯磨きのよさに気付く姿を通して、毎日の基本的な生活習慣の大切さについて考える。 やまがらの誕生日に行ったみそさざいの心の動きや、やまがらの喜ぶ気持ちを考え、友だちと仲良く助け合っていこうとする心情を育てる。
7	すてきな まほうつかい ハムスターの あかちゃん	相手に親切にすることで、友達を増やすことができた喜びを通じて、身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることの大切さについて考える。 ハムスターの赤ちゃんが少しずつ成長していく様子を見つめることで、身近な生き物の誕生や成長を見つめ、命あるもののすばらしさについて考える。
8	かぼちゃの つる	かぼちゃの行動とその結果について考えることで、自分のことだけでなく、他の人のことも考えて、わがままをしない生活をする大切さについて考える。
9	十四ひきの お月見 はしの上の おおかみ 玉入れ	真っ赤に燃える森や美しいお月様に感動する14ひきの家族の様子を考えながら、美しい心に触れ、清々しい気持ちをもつことの大切さについて考える。 意地悪ばかりしていたが、くまに優しくしてもらったことで、親切になっていくおおかみの心の変化を考え、身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることの大切さについて考える。 一回戦目と二回戦目のいちろうの気持ちの変化を考えることを通して、約束やきまりをすずんで守ることの大切さについて考える。
10	金いろの クレヨン がんばれ！車いすのうさぎ びよんた すつきり はればれ まねっこ	正直に謝ったのぼるの行動を考えることから、うそをついたり ごまかしたりしないで素直に伸び伸びと生活することの大切さについて考える。 大けがをしたびよんたを大切にすることの子供たちの気持ちを考えながら、身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接することの大切さについて考える。 迷ったけれど思い切って席をゆずることができた主人公がすつきりとした気持ちになったことについて自分の体験や感じ方を想起しながら、よいと思うことを進んで行うことの大切さについて考える。 自分の絵をまねされたとおるから言われたたかしの気持ちを考え、人が考えたり、工夫したりしたことを尊重し、勝手に流用したり真似したりしないことの大切さについて考える。
11	すてきな虫、見つけた！ カバえんちょう まんまるおにぎり かがやけ いのち	ゆうたの、自分の悪いところに向いていた気持ちが、良いところを見つけて変化していく様子を通して、自分にもいいところがあることを知り、それを大切にすることのよさについて考える。 いっしょうけんめい自分の仕事をする西山さんの気持ちを考えることを通して、自分のやるべきことをやりとげようとするものの大切さについて考える。 家族のためを思っておにぎりを作ったさやかさんの気持ちを考えることで、家族のために自分でできることを進んで行うことの大切さについて考える。 みらいの命を大切に守る人々と、精一杯生きているみらいの生き方に触れながら生きていることの喜びとすばらしさについて考える。
12	学校の かえりみち ともだちをたすけた ゾウ むかしあそび	迷いや弱さをのりこえた主人公の行動を自分との関わりで考えることを通して、よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行うことの大切さについて考える。 病気のアヌーラを支えるタカコとガチャコの行動を通して、友だちと仲良く助け合っていくことの大切さについて考える。 あやとり名人になろうと決めたかずみさんの気持ちを考えることで、我が国に昔から伝わる伝統や文化に興味をもち、それらに親しむことの大切さについて考える。
1	おおい？ すくない？ 金の おの おじさんの てがみ	どんぐりを分ける役のりすの気持ちを考えることで、自分の好き嫌いで友達を分け隔てしないことの大切さについて考える。 2人の木こりの気持ちを対比しながら、うそやごまかしのない、誠実な心で生活することの大切さについて考える。 おじさんの手紙を先生から読んでもらった後のみんなの気持ちを考え、自分勝手な行動をせず、みんなのことを考えた行動をすることの大切さについて考える。
2	大きなこえで いえるとい いってみたいな、せかいのくにへ ぱちん ぱちん きらり	大きな声であいさつができるようになろうと努力している「わたし」の行動を通して、気持ちの良いあいさつ、言葉遣い、動作などを心がけて、周囲の人々に明るく接することの大切さについて考える。 おじさんから他国の遊びを教えられたときのしげる君の気持ちを考え、世界の人々や文化に親しみを持つことの大切さについて考える。 さかなのお母さんの願いに一生懸命応えようとして、空一面の星空を作り出したかへの気持ちを考えることを通して、優しく美しい心遣いや情景に素直に感動することの大切さについて考える。
3	がんばれ ポポ もうすぐ 二年生	あまえっこだったポポが、ひとりできいな花を咲かせるまでの気持ちの変化を考えることを通して、自分のやるべき仕事や勉強を最後までしっかりやり遂げようとするものの大切さについて考える。 1年生を迎えるための準備をするときの気持ちを考え、学校を愛し、学校生活をより楽しくすることの大切さについて考える。
評価の観点		
・道徳科の授業においてみられる、児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取り、個人内評価として文書で記述します。		
評価の方法		
会話 ノート 作文 質問紙等		